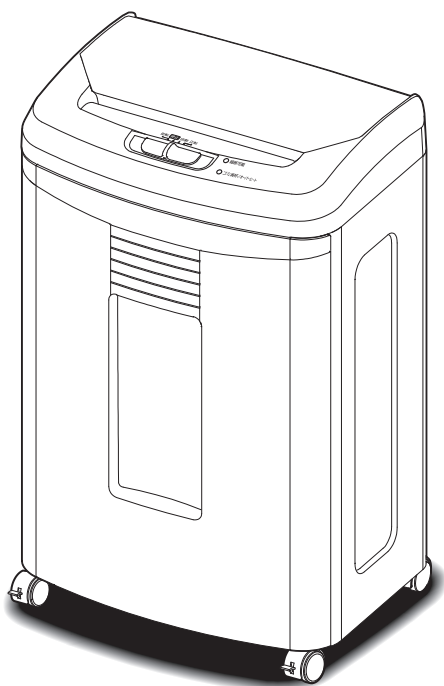


オートフィードシュレッダー

AFS100C

取扱説明書



紙・
プラスチック
カード専用

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用の前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店から受け取ってください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5

取り扱いかた

使いかた	6
お手入れ	9

こんなときには

故障かな？と思ったら	10
仕様	11
保証書	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。



- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

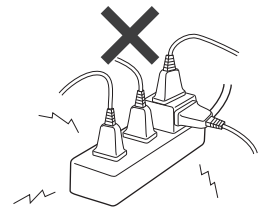
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない

火災の原因になります。



- 交流100V以外では使わない

火災・感電の原因になります。

- 乳幼児にプラグをなめさせない

けがや感電の原因になります。



- 分解・修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 不安定な場所に置かない

転倒・落下して、けがや、物品の破損の原因になります。

- 上に乗ったり、物を置いたりしない

けがや、物品の破損の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）

引火して火災の原因になります。



- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

- 本体を水につけたり、本体に水をかけない

火災・感電の原因になります。



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない

火災の原因になります。



- 子どもに使用させない

重大事故の原因になります。



- 投入口や排出口に物や手を入れない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 髪の毛を投入口に近づけない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 衣類の裾やネクタイなどを投入口に近づけない
- ネックレスなどのアクセサリーを投入口に近づけない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。



- シュレッダー以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。



- 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない
過熱して火災の原因になります。



- 移動するときはダストボックスが外れて落下しないように注意する
けがの原因になります。



- カバーや給紙ガイドを閉じるときは、手や衣類をはさまない
けがや事故の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなことはしないでください。
 - ・ 本機以外のダストボックスやくず入れを組み合わせで使用する
 - ・ 必要以上に逆転させる
故障の原因になります。
- 紙とプラスチックカードの細断くずが、混じらないように使い分けてください。
紙からプラスチックカード、またはプラスチックカードから紙へ、細断する物を変更するときは、ダストボックスのくずをすべて捨ててください。
- 次のような物はいれしないでください。
 - ・ フィルム・OHPシート・ポリ袋・ビニールなど
 - ・ カーボン紙・感熱紙・湿った紙・シール・タック紙・粘着テープ・新聞紙など
 - ・ CD・DVD・その他のディスク
 - ・ 磁気カード・ICカード・ラミネートされたカードなど故障の原因になります。
- クリップ・ピン・11号針より大きいステープラの針などは必ず取り除いてから投入する。
ステープラの針は11号針まで細断可能です。
- 細断くずは、ダストボックスいっぱいまでためないでください。
性能の低下や故障の原因になります。
- キャスターで段差を乗り越えないでください。
キャスターの破損の原因になります。段差のあるところでは、必ず持ち上げて移動してください。
- 移動するときは、ダストボックスが外れて脱落しないように注意してください。
細断くずが飛び散ります。
- 一度に細断できる枚数は7枚です。
指定の枚数を超えて細断すると故障の原因になります。
- 連続使用は10分以内にしてください。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。
過熱・故障の原因になります。

- 台所など湿気や油煙の多い場所、ほこりの舞う場所では使用しないでください。
長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、取りきれないことがあります。
- 直射日光やエアコン・冷暖房器具の風が当たるような、高温・低温になる場所に設置しないでください。
変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

モーターの保護装置について

定格時間を超えて細断を続けるなどして、モーターに負担がかかって異常に温度が上昇すると、保護装置が働き細断を停止します。

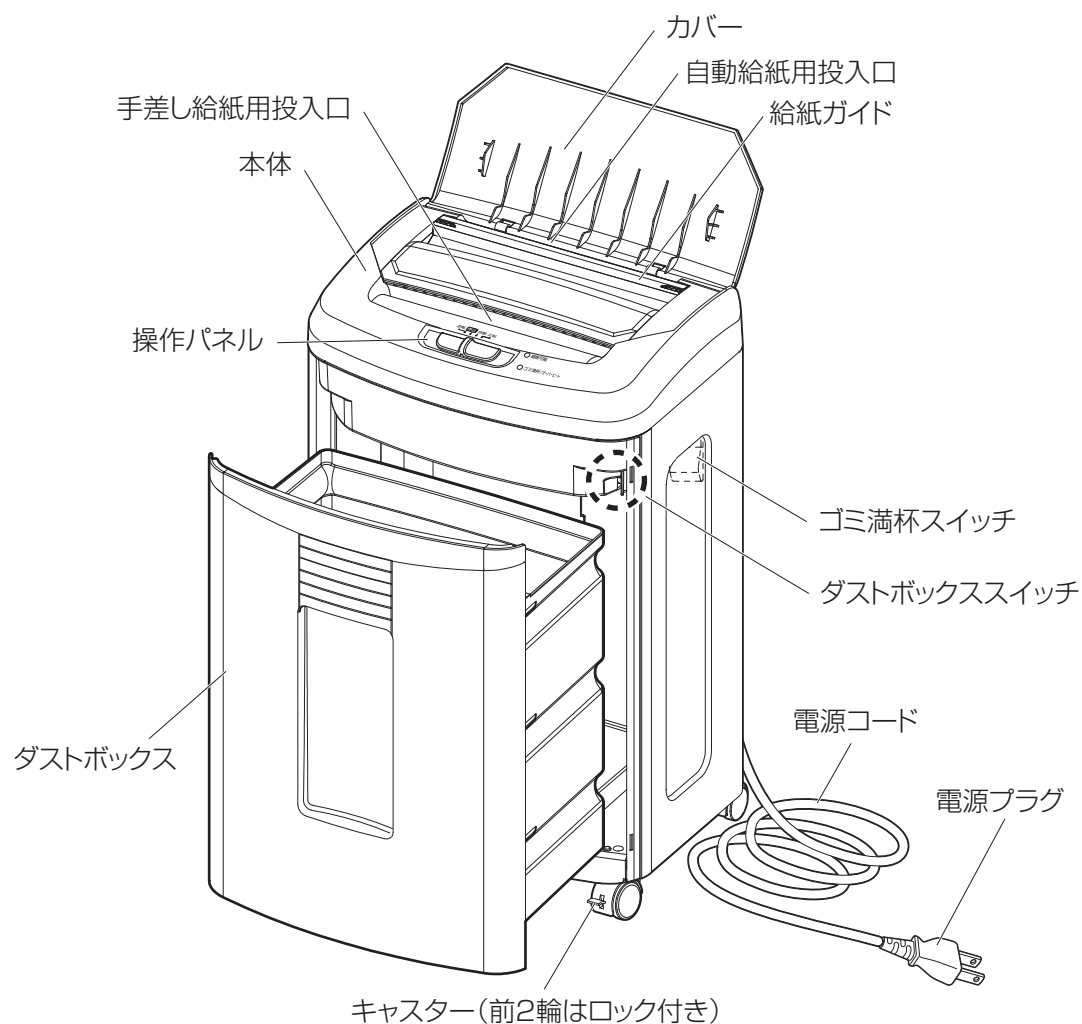
保護装置が働いたときは、①細断スイッチを**停止**にし、②約1時間放置して、③細断機構部が冷めてから、詰まった紙を取り除くなどして使用してください。

廃棄について

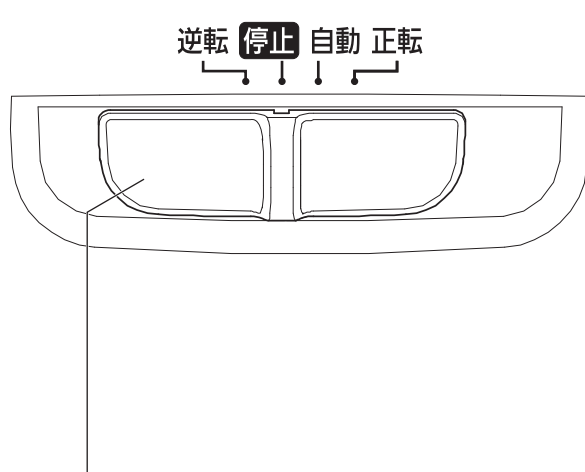
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

- 本機は出荷前に細断テストを行っています。細断テスト後は細断くずの除去を行っていますが、カッター刃などに付着した細断くずが輸送中に落下し、ダストボックスや本体に残っている場合があります。あらかじめご了承ください。

各部の名称



■操作パネル



- 細断可能
細断可能ランプ
ダストボックスを正しくセットすると、細断スイッチを**自動・正転・逆転**にした時に点灯します。
- ゴミ満杯/オーバーヒート
ゴミ満杯(オレンジ)/オーバーヒート(赤)ランプ
定格時間を超えて細断するなどして、モーターの温度が異常に上昇すると、保護装置が働いて細断を停止し、ランプが赤に点灯します。

細断スイッチ

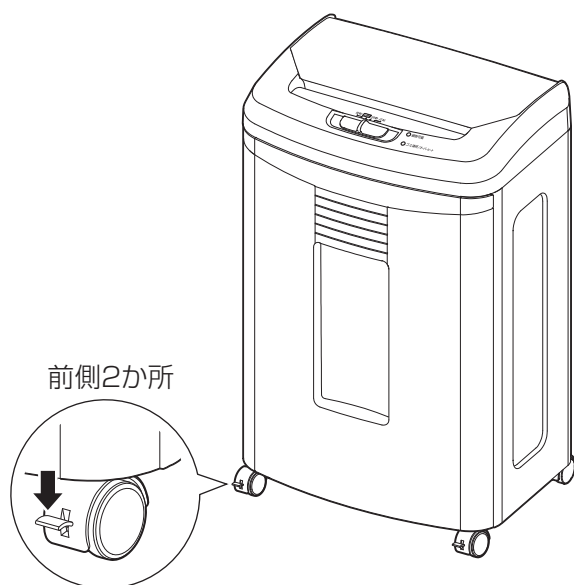
逆転	停止	自動	正転
紙の投入にかかわらず、カッターが逆転します。紙が詰まったときに使用します。	細断が終わったらこの位置にします。移動したり細断くずを捨てるときは、必ずこの位置にしてください。	紙を投入すると自動的に細断が始まります。細断が終了すると、自動的に停止します。	紙の投入にかかわらず、カッターが回転を続けます。紙が詰まったときなどにも使用します。

使いかた

■ 準備

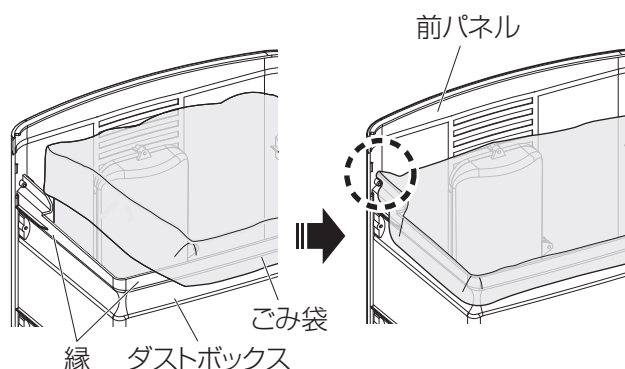
1 水平で安定した場所に設置する

- ・ 設置場所が決まったら、本体が動かないようにキャスターをロックしてください。

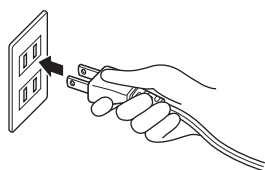


2 ごみ袋を取り付ける

- ・ ごみ袋の開口部を外側に折り返し、ダストボックスの縁にかぶせてください。
- ※角の部分だけでなく、全周折り返します。
- ※ダストボックスの前パネル側は、前パネルとダストボックスの間に差し込みます。

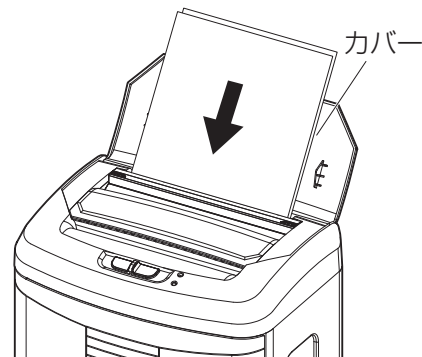


3 電源プラグをコンセントに差し込む

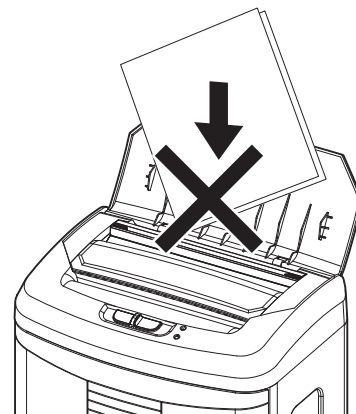


■ 紙の自動細断

1 カバーを開けて、細断する紙を自動給紙用投入口にセットする



※紙はまっすぐ投入してください。



ステープラ (ホッチキス) について

- ステープラの針は、11号針まで自動細断可能です。ただし、とめる箇所が多かったりとめ方が悪かったりした場合は、自動細断できない場合があります。
- 5枚以上綴じられている書類は自動細断しないでください。(4枚までは可能)
- ステープラでとめた書類を自動細断するときは、針の方向を図のように、隙間が裏側(カバー側)になるようセットしてください。



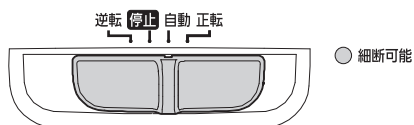
(書類)
ステープラの針の
隙間が書類の裏側



(書類)
ステープラの針の
隙間が書類の表側

2 細断スイッチを自動にする

- 細断可能ランプが点灯し、自動的にカッターが回転して細断します。



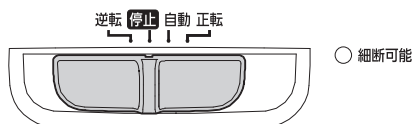
- 細断が終了すると、自動的にカッターの回転が停止します。

一度にセットできる紙の枚数

A4 コピー用紙 100枚 以内
(64g/㎡)

- 自動細断できるのは紙のみです。
- 紙の細断能力は、紙質、湿度などにより変わります。
- 自動細断できる紙のサイズは、A4～A5です。
- サイズの異なる紙が混じっているときは、自動細断はしないでください。
- 自動細断は、コピー用紙のみにしてください。厚みの異なる紙（はがきなど）は紙詰まりの原因になります。
- 投入口中央の感知センサーを通らないと、細断は始まりません。
- 連続使用は10分以内にしてください。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。

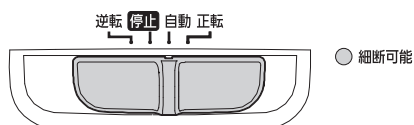
3 使い終わったら、細断スイッチを停止に戻す



■ 紙・プラスチックカードの手動細断

1 細断スイッチを自動にする

- 細断可能ランプが点灯します。



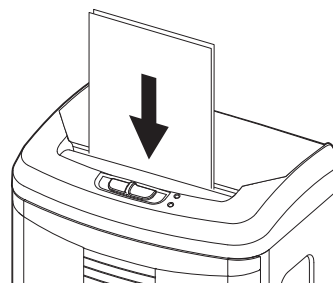
- 紙とプラスチックの細断くずが混じらないように、紙からプラスチックカード、またはプラスチックカードから紙へ、細断する物を変更するときは、ダストボックスのくずをすべて捨ててください。

2 細断する紙・プラスチックカードを投入する

- 自動的にカッターが回転して細断します。

紙

- 手動細断投入口の中央に、上からまっすぐ紙を入れてください。



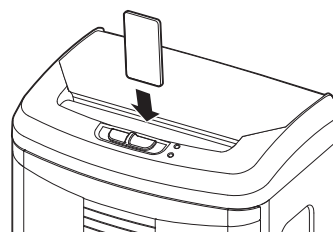
一度に細断できる紙の枚数

A4 コピー用紙 7枚 以内
(64g/㎡)

- 紙の細断能力は、紙質、湿度などにより変わります。
- 紙を斜めに投入すると、紙詰まりなどのトラブルの原因になります、必ずまっすぐに投入するように注意してください。
- 投入口中央の感知センサーを通らないと、細断は始まりません。
- 連続使用は10分以内にしてください。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。

プラスチックカード

- 手動細断投入口の中央（カード投入位置）に、上からまっすぐプラスチックカードを入れてください。



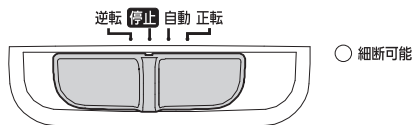
一度に細断できるプラスチックカードの枚数

厚さ目安 0.8mm **1枚**

- 細断能力は、材質、湿度などにより変わります。
- プラスチックカードは、必ず1枚ごとにカッターが完全に停止してから、次を投入してください。
- 磁気カード・ICカード・ラミネートされたカードは細断できません。
- 投入口中央の感知センサーを通らないと、細断は始まりません。
- 連続使用は10分以内にしてください。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。

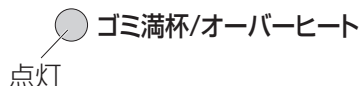
使いかた つづき

3 使い終わったら、細断スイッチを**停止**に戻す



■ 細断が途中で止まったら

(ゴミ満杯／オーバーヒートランプが点灯したら)



オーバーヒートして停止しているとき (赤に点灯)

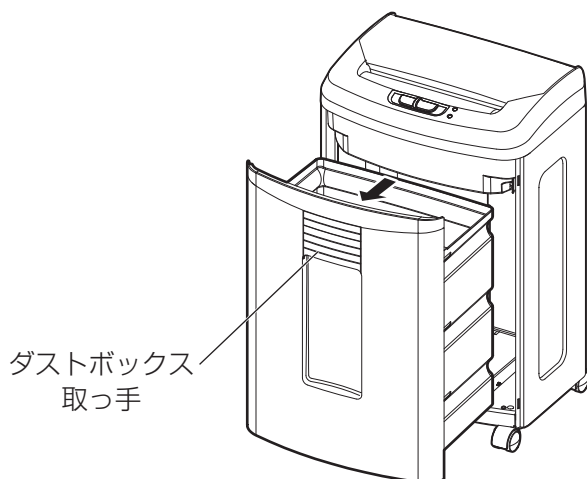
細断スイッチを**停止**にして、電源プラグを抜き、細断機構部が冷えるまで放置する

- ・ 約1時間放置し、電源プラグを接続して、再度操作してください。
- ※ それでも、動作しないときは、修理専用コールへお問い合わせください。

細断くずがいっぱいになっているとき (オレンジに点灯)

細断くずを捨ててください。

- ・ ダストボックスを引き出すときは、取っ手を持って、前に引き出してください。
- ・ 細断くずが飛び散らないように、ゴミ袋を取り出し、捨ててください。



注意

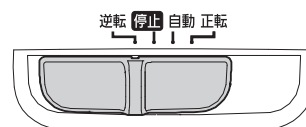
● 細断くずを捨てるときは、必ず細断スイッチを**停止**にしてください。

- ※ ゴミ満杯／オーバーヒートランプが点灯する前に、細断くずがたまってきたら、早めに捨ててください。
- ※ ダストボックスは、正しく本体にセットしてください。

■ 細断が途中で止まったら

一度に大量の紙を投入したり、斜めに投入したりすると、紙が詰まって細断が停止することがあります。そのようなときは、次の手順にしたがってください。

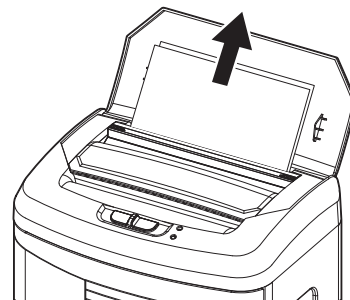
1 細断スイッチを**逆転**にして、詰まった紙を取り除く



- ・ 詰まった紙が取り除きにくい場合は、無理に引っ張らず、左右にゆすりながら少しずつ取り除いてください。

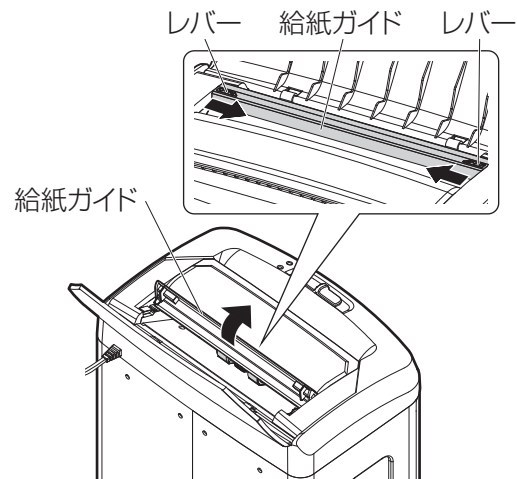
※ 細断スイッチをスライドしても動作しないときは、モーターの保護装置が働いています。その場合は、約1時間放置した後、再度動かしてください。

自動細断中の場合



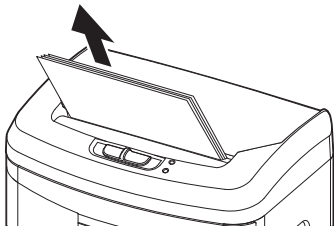
詰まった紙を引っ張りにくい場合は

- ・ 給紙ガイドの左右のレバーを中心方向にスライドしてガイドを開け、詰まった紙を取り除いてください。
- ・ 紙を取り除いた後は、必ず給紙ガイドを閉めてください。給紙ガイドが開いたままだと、カッターが動作しません。

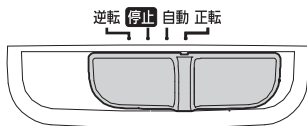


お手入れ

手動細断中の場合



2 細断スイッチを正転にして、細断くずを排出する



- 細断が途中で止まったまま放置しないでください。故障の原因になります。
- ダストボックスがいっぱいのまま逆転しないでください。ダストボックス内の細断くずが巻き上げられて、紙詰まりの原因になります。逆転するときは、必ずダストボックスの細断くずを捨ててから行ってください。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

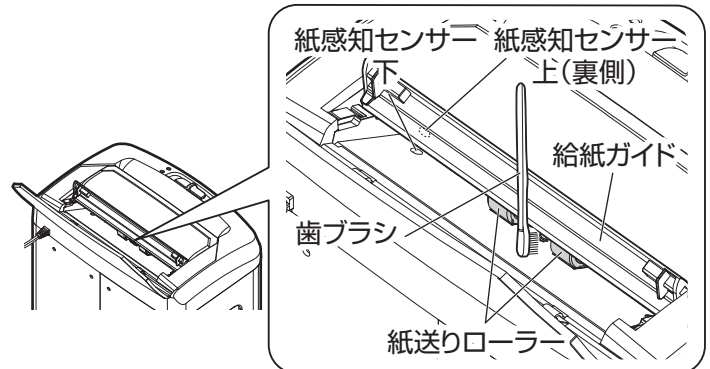
紙送りローラー・紙感知センサー



注意

- 内部のお手入れは、必ず細断スイッチを**停止**にし、電源コードを抜いて行ってください。

給紙ガイドを開き、紙送りローラー・紙感知センサーを、不要な歯ブラシなどで掃除する



※ 紙送りローラーの全面を一度に掃除することはできません。

見えてない部分を掃除するには、一度給紙ガイドを閉じて、電源プラグをコンセントに接続し、細断スイッチを**正転**にしてローラーを回転させます。これを繰り返して、紙送りローラーの全面を掃除してください。

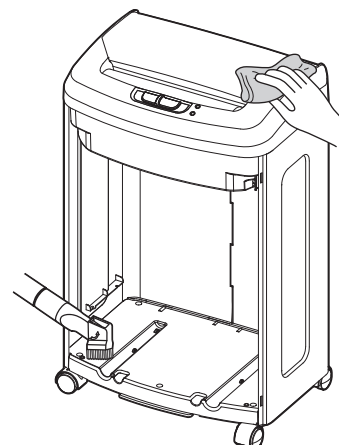
※ 汚れが落ちにくいときは、歯ブラシに少し水を含ませて、汚れを落としてください。

※ 紙感知センサーは、上下に付いています。上側の感知センサーは下側の感知センサーの向かい側にあります。

不要な歯ブラシなどで、紙粉を取り除いてください。

本体

- ・ 柔らかい布でから拭きしてください。
- ・ 内部に細断くずなどが飛び散っているときは、掃除機などで吸い取ってください。
- ・ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



お手入れ つづき

カッター

シュレッダー用簡単お手入れシート（別売）を使用する場合

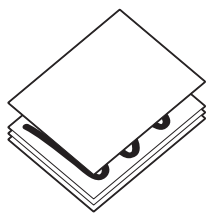
- アイリスオーヤマ製シュレッダー用簡単お手入れシートを細断してください。細断すると、潤滑油が行き渡り、動作を滑らかにします。

コピー用紙を使用する場合

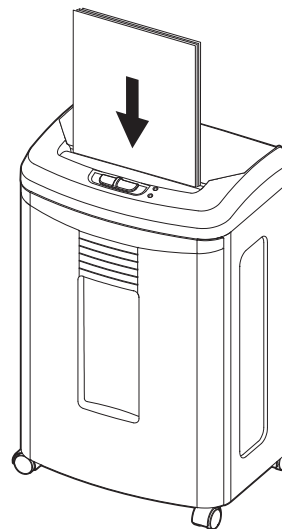
- ① コピー用紙を3枚重ね、1番上の用紙にミシン油を塗る



- ② ミシン油を塗ったコピー用紙の上に、さらにコピー用紙を1枚重ねる



③ 細断する



保管

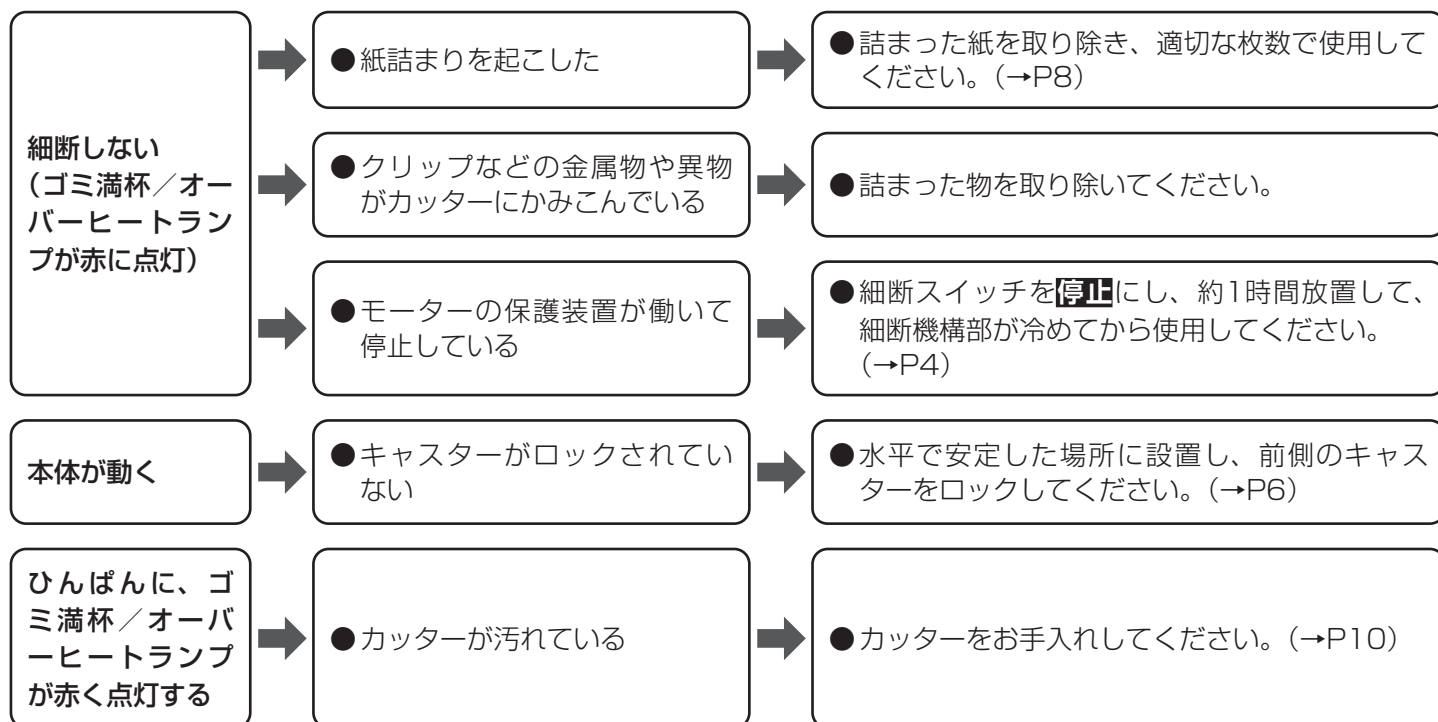
- 長期間使用しないときは、ポリ袋などをかぶせて、湿気の少ない場所で保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
細断しない	● 投入物が感知センサーを通っていない	● 投入物は投入口の中央を通るようにまっすぐ入れてください。
細断しない (細断可能ランプが消灯)	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● ダストボックスが本体に確実にセットされていない	● ダストボックスを奥まで確実にセットしてください。
	● 給紙ガイドが開いている	● 給紙ガイドを閉じてください。(→P8)
細断しない (ゴミ満杯／オーバーヒートランプがオレンジに点灯)	● ダストボックスが満杯になった	● 細断くずを捨ててください。

故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

定格電源		AC100V、50 / 60Hz
定格消費電力		100W
待機電力		1W
投入幅		220mm (紙投入口)
細断サイズ		クロスカット 4×10mm
細断速度		約1.9m / 分
定格細断枚数	A4コピー用紙 (上質紙64g / m ²)	7枚
	プラスチックカード (厚さ0.8mm)	1枚
最大給紙枚数 (自動細断)		A4コピー用紙 (上質紙64g / m ²) 100枚
定格時間		10分
ダストボックス容量		22L
外形寸法 (電源コード含まず)		幅345×奥行240×高さ556mm
質量 (電源コードを含む)		約9.5kg
電源コード長さ		約1.5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

オートフィードシュレッダー AFS100C

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください